

石井の花姿

やさしく、あたたかい。まちづくりの姿



太陽と
緑の
環境都市
いしい



発刊によせて

私たちのまち石井町は、昭和30年3月の1町4村の町村合併から、本年で67年を迎えました。

豊かな自然環境と温暖な気候に恵まれ、自然と田園風景を残しながらも、隣接する徳島市のベッドタウンとして開発が行われ発展を続けています。

これからも、将来ビジョンに掲げる「太陽と緑の環境都市 いしい」の実現に向け、本町に住んでいる人も訪れた人も、誰もが笑顔になれる、人にやさしいまち、人にやさしくなるまちであり続けることを願い、未来が明るいまちづくりを進めてまいります。

この町勢要覧により、本町の魅力や情報が皆様に伝わり、より身近に石井町を感じていただければ幸いです。



石井町長
小林 智仁



Contents

太陽と緑の環境都市いしい	2
清く、とつとつと	4
彩りの競演	6
住みここちナンバーワン	8
阿波のまほろば	12
郷土を拓くチカラ	14
あじわい豊かに	16
第五次石井町総合発展計画	18
石井町プロフィール	22
アクセスガイド	23

石井の花姿

花姿【はなすがた】

花が咲くありさま。花のように美しい姿。石井町勢要覧では、町のシンボルである藤の花姿になぞらえて、誰もが笑顔になれる、人にやさしいまち、人にやさしくなる「まちの姿」を伝えます。

清く、

とろとろと

潤いの清流、吉野川



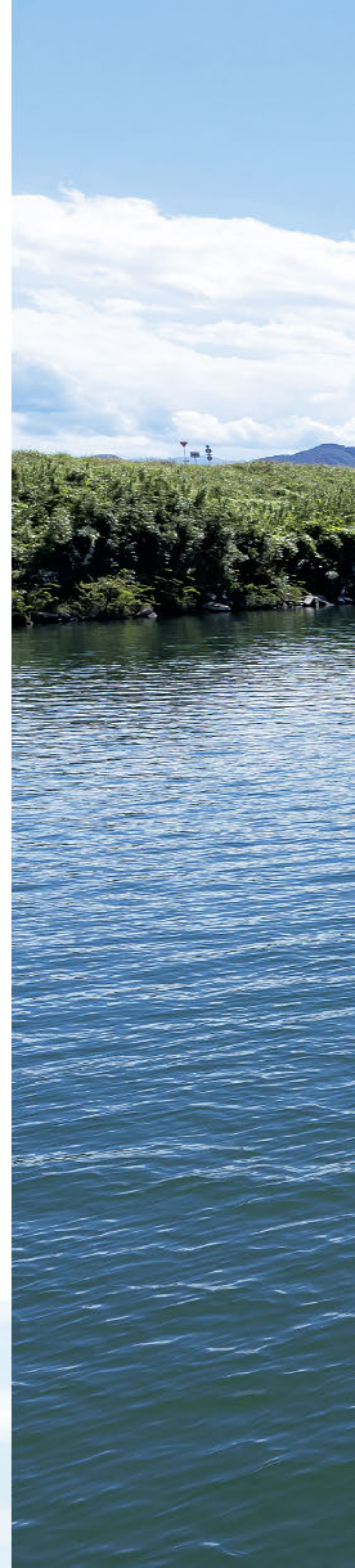
吉野川第十堰



高瀬橋



水清らかにとうとうと（淀みなくどんどんと）流れる一級河川・吉野川。石井町はその潤いに恵まれ、豊かな土壌のもとに栄えてきたまちです。自然、歴史、人々の暮らしの一つひとつが悠々と流れ、時を刻んでいます。吉野川第十堰は、江戸時代に農業用水を確保するために造られた上水道の水源地となっています。また、石井町藍畑にある高瀬橋は数多く架かる潜水橋の一つ。これらは住民の日常に溶け込んだ大切な吉野川の風景です。





彩りの競演

藤と桜とイチヨウの三重奏

藤は石井町の花に指定され、200年以上も前から人々に愛されてきました。見頃となる4月下旬には、町内各所がその花言葉通り「やさしさ」や「歓迎」の彩りに染まります。

① 童学寺／② 徳蔵寺／③ 地福寺
／④ 飯尾川公園



①



⑤



⑥

秋深まり、金色に映えるイチヨウの木。古くから神木として崇められる天満神社のイチヨウや、県下で5番目に太い幹周を誇る矢神のイチヨウ(新宮本宮神社境内)があります。

⑤ 天神のイチヨウ／⑥ 矢神のイチヨウ



③



②



④

いつの時代も、誰のもとにも等しく、その姿を見せてくれる桜。町内には満開の桜を楽しめるスポットが多くあり、やわらかな色と香りは、見る人の心を美しく染めていきます。

⑦ 徳島大学生物資源産業学部(旧農大)の桜のトンネル／⑧ 前山公園／⑨ 森本院天堂のしだれ桜



⑦



⑧



⑨

石

井町はたくさんの方々が訪れたまちです。スーパーやお店が多く、徳島市内にも行きやすい距離。近くに大きな公園や病院もあり、将来、自分たちが年齢を重ねても、生活しやすいと感じています。散歩をしていると、子どもからお年寄りの方まで皆さんがあいさつしてくれるのもあたたかいですよね。町の子育て支援制度も充実しています。第2子からの保育料無償

化やはぐくみ医療、預かり保育など、ありがたいものばかり。双子がいて、子どもが多い家庭なので本当に助かっています。自然が多いこと、買い物にも便利で暮らしやすいこと、地域の人があたたかいことなど、それぞれがつながり合って、まちそのものに親しみやすさを感じています。いくつになっても、ずっと暮らしていきたいまちですね。

INTERVIEW

高木さんご家族

ご主人のご両親と同居し、みんな元気に仲良く暮らす高木さんご家族。出身地や勤務先への近さも石井町が住みやすい理由とお話いただきました。



徳島中心部へJRだと20分で行けるんです!



ショッピングセンターや農産物直売所が便利!



住みこごち ナンバーワン

住みやすさの理由

住みこごちランキングで

石井町が2年連続四国No.1になりました。

子育て世代から働く人、中高年に至るまで

多くの人が「住みやすい」と感じられるよう

行政サービスや福祉の向上に努めています。



資料: 大東建託 「いい部屋ネット 街の住みこごち ランキング2020/2021 <徳島県版><四国版>





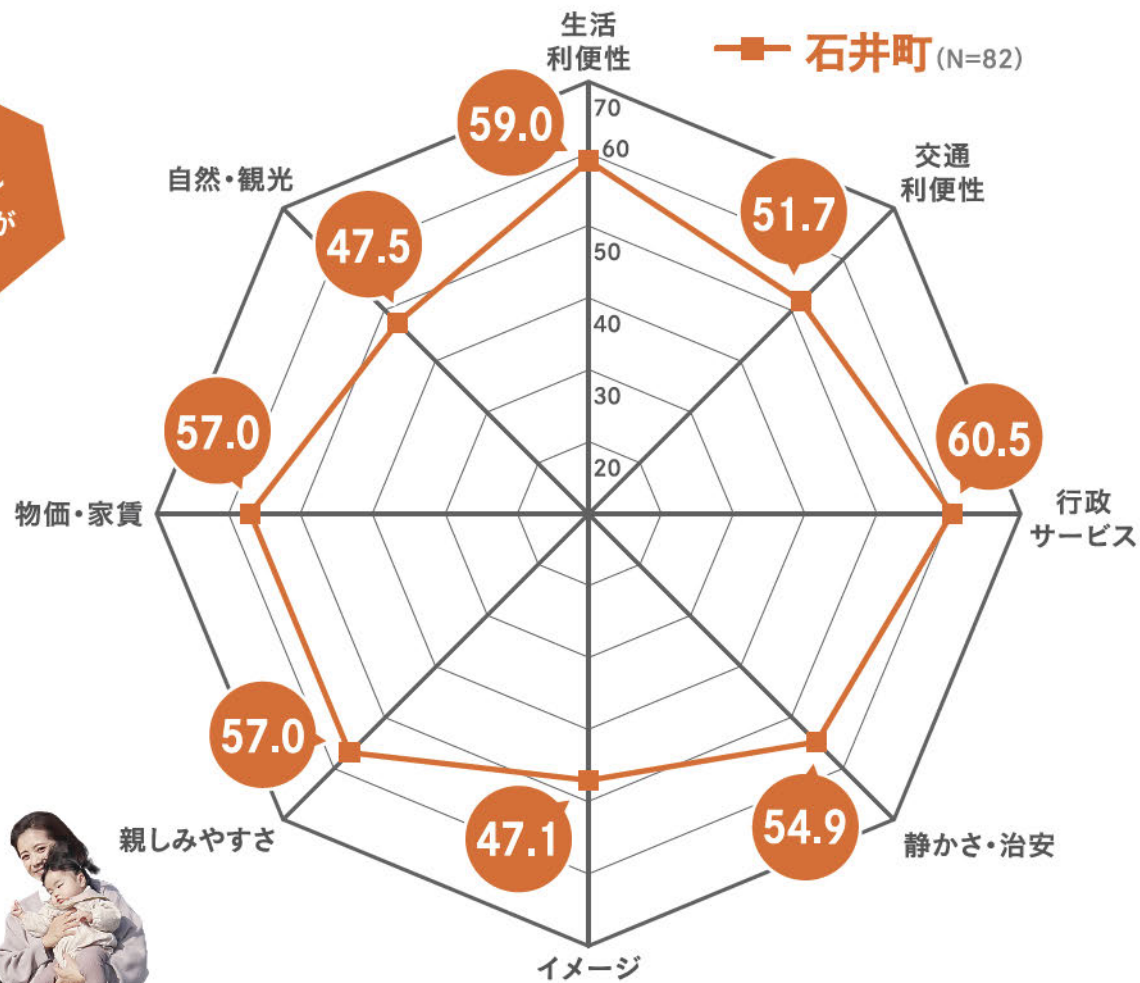
信頼の
医療機関が
充実しています



いしい地域
情報チャンネル
(i-チャンネル)が
便利



子育てに
あたたかい
環境ですよ



回答者数: 2,479名

順位	昨年	自治体名	偏差値	評点	回答数
1位	1位	名西郡 石井町	69.3	68.0	82
2位	2位	板野郡 藍住町	60.6	64.0	121
3位	5位	板野郡 北島町	58.2	62.9	87
4位	3位	鳴門市	56.9	62.4	178
5位	4位	徳島市	53.0	60.6	980

資料: 大東建託「いい部屋ネット街の住みこころランキング 2021徳島県版」



子どもねっといしい

公

共施設や商業施設、医療・福祉機関など、暮らしに必要なものがコンパクトにまとまっている環境は、子育てにも絶好のまち。子育てサロンや子どもの医療費助成など、各種支援が充実しており、「子育てしやすい」という声が多く聞かれます。



石井町で子育てを楽しむ本 つなぐ vol.2

子育て



町

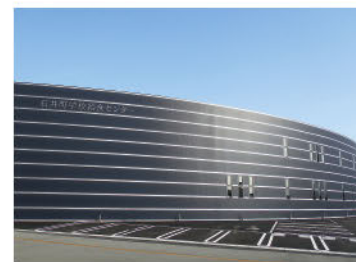
内には小学校・中学校・高校がそろい、教

育環境が充実しています。外国人英語指導員による英語巡回指導(いしい英語大好き事業)や新しくなった学校給食センターなど、学びと生活の場を整え、次世代を担う子どもたちの生きる力を育んでいます。



いしい英語大好き事業

教育



新給食センターによる学校給食



農

業大学校で学んだ後、「農」の舞台を拓く。そんな若者が多くいます。町では就業支援を整備し、農業の担い手づくりに取り組んでいます。また、普段の健康づくりやスポーツ環境の充実を図っています。

若者

若者の新規就農



いしいドームでスポーツ



商

工会や創業支援事業者などと連携し、町が創業支援に関するワンストップ相談窓口となり、事業の情報提供やその他支援を行っています。古民家をリノベーションした人気のカフェなどもあり、女性や若者が快活に日々を送っています。

石井町創業セミナー



創業



空き家バンクを活用し、カフェを開業

移住定住



CATVでまちの魅力を発信

近

隣市のベッドタウンとして開発が進む石井町は、移住定住に関する取組が盛んです。働く親が安心して子育てできる支援をはじめ、笑顔が行き交う親しみやすい地域づくりなど、「住み続けたい」と思えるまちづくりになります。



内

科、外科、小児科、産婦人科など各種医療機関があり、いざという時も安心です。また、豊かな高齢期を過ごす「石井町藤クラブ体育大会」など、いくつになっても元気に暮らすための体力づくりや高齢者支援などの機会が充実しています。

福祉健康



高齢者外出支援事業

学童保育、夏休み期間中の昼食提供



石井町藤クラブ体育大会

阿波のまほろば

地域の歴史と文化

徳島県北部の吉野川流域は、日本一の藍染料の産地で、今なお職人が藍の染料づくりを行い、染織文化を支え続けている藍のふるさとです。令和元年5月、石井町を含む県内9市町の阿波藍のストーリー「藍のふるさと 阿波」が日本中を染め上げた至高の青を訪ねて」が日本遺産に認定され

ました。石井町内の構成文化財の中でも、田中家住宅や武知家住宅は「藍屋敷」と呼ばれる藍師・藍商の豪壮な屋敷の代表例となっています。また、石井町は古代律令体制下において阿波国分尼寺が所在するなど、阿波国の中心として栄えたまちであり、町内には数多くの歴史遺産があります。



田中家住宅 (国指定重要文化財)



藍農工作之風景略図 (部分)

藍のふるさと 阿波

～日本中を染め上げた至高の青を訪ねて～

石井町の構成文化財

- 田中家住宅
- 武知家住宅
- 藍農工作之風景略図
- 元木家文書「加登屋日記」
- 武知家文書
- 林家文書
- 高橋家文書
- 阿波藍製造
- 灰汁発酵建藍染



JAPAN HERITAGE
日本遺産



王子のクス (石井町指定天然記念物)



桜間の池跡石碑 (徳島県指定史跡)



市楽の板碑群 (徳島県指定有形文化財)



阿波国分尼寺跡 (国指定史跡)



木造薬師如来坐像
(国指定重要文化財)



高川原勇獅子
(石井町無形民俗文化財)

武知家の藍寝床
(徳島県指定有形民俗文化財)



武知家住宅 (国指定重要文化財)

郷土を拓く

チカラ

石井町の農業

豊かな自然と比較的温暖な気候に恵まれ、昔ながらの田園風景を残す石井町。古くから農業が盛んで、野沢菜や小松菜、ブロッコリー、ほうれん草など、新鮮な野菜の供給基地となっています。近年では、様々な農業系企業の進出があり、町を挙げて既存農業の振興とともに次世代型農業を応援しています。若者による新規就農も多く、多彩な野菜を生産する強い力になっています。そして、採れたて野菜の販売促進に一役買っているのが町内に4か所ある常設の農産物直売所で、町内外から多くの人が訪れ、にぎわっています。

野沢菜



野沢菜は3月に最盛期を迎えます。冬の間、生産ができない長野県の漬物業者へ供給し、野沢菜漬けにされます。野沢菜漬けは長野県が本場で、雪が多い冬期は原料の大半を徳島県産が占めています。



進出する
農業系企業



小松菜

ブロッコリー



4つの 農産物直売所

上から 百姓一／酒・百姓市場／
めくみの里／阿波食ミュージアム



町の花「藤」をイメージできる
紫色野菜の生産に取り組んで
います。色だけでなく、栄養価
の高さも特徴的で、通常の野
菜に比べポリフェノールの量
が高くなっています。



いしいの藤やさしい



石井町内でのほうれん草栽培は、古
くから水田裏作の野菜として定着し
ており、秋冬野菜の代表格となっ
ています。生育の早い品種と遅い品種
を同時に播(は)種することで継続的
に出荷しています。

ほうれん草



味や香りにくせがなく、ほのかに
甘みがあるのが徳島県産ブロッ
コリー。カロテンやビタミンB1、ビ
タミンCなどが豊富です。近年、需
要の高まりもあり、町内では若手
農家による栽培も盛んです。



あじわい豊かに

特産品

吉野川流域の肥沃な土壌と豊かな水、作り手の情熱が
（こ）当地自慢の逸品を生み出しています。

味噌・甘酒

杉樽蔵つくりで仕込んだ味噌や、吉野川の伏流水で仕込んだ甘酒を昔ながらの伝統製法で製造しています。



鶏肉

安全性の高いこだわりの製法で、シャキッとした歯ごたえとジューシーさが特徴の鶏肉です。



漬物

町を代表する地場産品の一つ。「阿波たくあん」は大正時代から親しまれています。



和菓子

優美な藤をモチーフにした銘菓は、昔から受け継がれるふるさとの味わいです。



ハム・ソーセージ

添加物を一切使わず、自然派の製法に徹底的にこだわり、素材の味が生きています。



Matsushigate
MARCHE

石井町ブースを
出店



松茂町交流拠点施設「マツシゲート」で開催される「Matsushigate MARCHE (マツシゲートマルシェ)」は、徳島の様々なこだわり食材や数々のオリジナル商品が集まるオシャレ日曜日です。石井町もブースを設け、出店を希望する事業者、生産者団体などを募集しています。特産品のPRだけでなく、町内外の事業者などとの交流を深める機会となっています。

地元グルメ

特産品の野沢菜や鶏もも肉、コーンをふんだんに使い、ナポリ生地で作上げた本格的なピザです。



調味料

ソース、ドレッシング、魚醤など県産の原料をふんだんに使った調味料は、料理の味や奥行きを引き立てます。



焼酎

徳島県産のブランド芋である鳴門金時を使用。甘い風味が広がる本格芋焼酎です。



木工製品

創業当時の技術が今に生かされ、暮らしやニーズに合った製品が生み出されています。



第五次 石井町総合発展計画

2021

2030

重点目標 1

**子どもを産み
育てやすい環境と
移住・定住の促進**

石井町ならではの充実した子育て環境に磨きをかけ、子どもとその家族、地域が輝く取組を推進します。また、恵まれた自然環境を活かし、移住・定住を促進します。



1歳6か月児・3歳児健康診査事業

重点目標 2

**暮らしやすい
生活環境の形成**

保健・医療・福祉などの各分野の充実を図るとともに、時代に合った地域コミュニティの再構築を行うことで、今後も住みやすいまちづくりに取り組めます。



自然がすぐそばにある住環境

重点目標 3

**産業の振興と
雇用の場の創出**

若者に「的を絞ったしごと」の創出や産業振興により、まちの活力の向上を図ります。また、新産業の創出や観光・交流産業の振興、人材の確保・育成に取り組めます。



日本遺産の活用による観光振興

基本目標

1

互いに支え合う、
人と地域が輝く
まちづくり

住民一人ひとりの「住み続けたい」を実現できるまちづくりを推進します。子育ての分野では、若い世代が結婚して子どもを持つといった希望をかなえるための取組を推進し、子育ての場としての魅力を高めます。また、健康づくりや生きがいづくりを支援し、住民一人ひとりが健やかに暮らすことができるまちづくりを行います。さらに、地域での支え合い、助け合いを支援し、すべての住民が共生できる社会の形成をめざします。

第五次石井町総合発展計画では、基本計画を推進するにあたり、持続可能な開発目標 (SDGs) の17のゴールを意識して推進していきます。

4 子育て環境と教育の充実

石井町移動図書館車「ふじっこ2号」による巡回



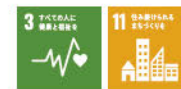
3 地域の支え合いの推進

石井町採火式・聖火ジット (パラリンピック) の開催



2 高齢者・障がい者福祉の充実

いきいき百歳体操



1 健康的な暮らしの推進

役場庁舎1階に健康づくりコーナーを開設



基本目標

2

自然と調和した
安全・安心な
環境都市

防災への関心が高まる中、住民の生命や財産を守るため、防災・防犯体制の充実などを図り、誰もが安全に安心して暮らせる地域づくりを推進します。また、すべての住民が、快適に生活を営むことができるよう、近隣市町間や町内の交通基盤の整備、良好な住環境の維持・整備を図ることが重要です。人と自然が共生していく中で、エシカル消費を推進し、環境にやさしいライフスタイルの浸透や自然環境の保全を図ります。

1 安全で快適な生活環境の確保



生活の要となる町道



2 安心した暮らしの実現



空き家問題解決セミナー



3 安全・安心のまちづくり



四国初となるファットバイクを配備



4 環境に配慮したまちづくり



リサイクルセンターの取り組み



基本目標

3

住民と

ともにつくる

協働のまちづくり

企業誘致や起業促進などの雇用の創出、農業・商工業をはじめとする産業の継承、活性化に取り組みとともに、自然や歴史などを活かした観光振興を推進します。また、効率的かつ効果的な行政運営が実現できるよう、情報通信技術などの活用を図るとともに、職員能力の向上をはじめとする人材育成を推進します。公共施設の長寿命化などを計画的に推進し、長期的な視点に立った持続可能な行政運営を推進します。

1

地域産業の活力増進



ふじっこちゃん 宝くじ141事業



2

協働のまちづくりの推進



布マスクの製作や寄贈などに多くの町民や企業が協力



3

健全な行政運営



いい地域情報チャンネル (i-チャンネル)



4

広域行政の推進



益城町(熊本県)との災害時における相互応援に関する協定締結



石井町プロフィール

徳島市の西に隣接し、地形は東西約6km、南北5.5kmのほぼ正方形で、面積28.85km²。吉野川がもたらした肥沃な平地と標高200m前後のなだらかな山地や丘陵地からなり、全面積の約65%が農耕地で、林野は1割にも満たない。昭和30年3月、旧石井町と浦庄・高原・藍畑・高川原村の1町4村が合併して成立。

人口25310人(令和4年1月1日現在)

石井町民憲章

(昭和57年4月1日制定)

わたしたちは緑濃い四国山地と水清らかな吉野川との間に開け温かな気候と豊かな自然に恵まれた石井町の人情あふれる町民です。

わたしたちは先人が残した文化と伝統を受け継ぎ石井町民としての誇りと自覚を持ち愛と誠のある暮らしを日々求めて明るく活力のある太陽と緑の田園都市石井町の発展に努めます。

- 一、健康で節度ある生活をし明るく円満な家庭をつくります
- 一、和を大切にし安全につとめ楽しく住みよい社会をつくります
- 一、緑を育て文化を高め美しく清らかな環境をつくります
- 一、教育を尊び心身を鍛え夢と希望に満ちた郷土をつくります
- 一、産業を興し経済を発展させ活気あふれる豊かな町をつくります



8月上旬

石井町納涼夏まつり



3月末～4月上旬

桜まつり



12月～1月

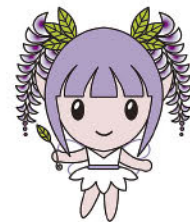
石井ウインターイルミネーション



4月下旬～5月上旬

藤まつり

イメージキャラクター



ふじっこちゃん

(平成23年3月公募により制定)

石井町の花である藤から生まれた妖精。藤の花をかたどった髪の毛と、どこにでも飛んでいける羽が特徴。

町章



(昭和36年6月公募により制定)

「石井」の文字を図案化したもので、周囲の円は永遠に輝ける発展を示している。

町の鳥



うぐいす

(昭和57年6月1日制定)

町の花



ふじ

(昭和57年6月1日制定)

町の木



いちよう

(昭和57年6月1日制定)

アクセスガイド



JR徳島駅	JR徳島線 約20分 車・バス	石井町
徳島自動車道 土成IC・藍住IC	約30分 車	
高松自動車道 板野IC	約20分 車	
徳島阿波おどり 空港	約30分 車	
	約45分 車	

—○— 高速道路
 - - -○- - - JR
 —●— 国道





石井町役場
ホームページ

Facebook



石井町との
交流サイト

Twitter



@ishiitown

Android



スマートフォン用アプリ
「いしいアプリ」

iPhone



石井町勢要覧

発行：石井町役場
〒779-3295 徳島県名西郡石井町高川原字高川原121-1
電話：088-674-1111(代表)
FAX：088-675-1500
<https://www.town.ishii.lg.jp/>
発行日：令和4年3月